

I 調査結果の概要

1 食肉流通の動向

(1) 豚

ア と畜頭数及び枝肉生産量

全国の豚のと畜頭数は1,683万6千頭、枝肉生産量は131万8,165 tで、前年に比べそれぞれ0.9%増加した（表1）。

表1 豚のと畜頭数及び枝肉生産量の推移（全国）

区 分	と畜頭数	枝肉生産量
	千頭	t
令和2年	16,690	1,305,953
3	16,836	1,318,165
対前年比（%）	100.9	100.9

イ 取引成立頭数及び卸売価格

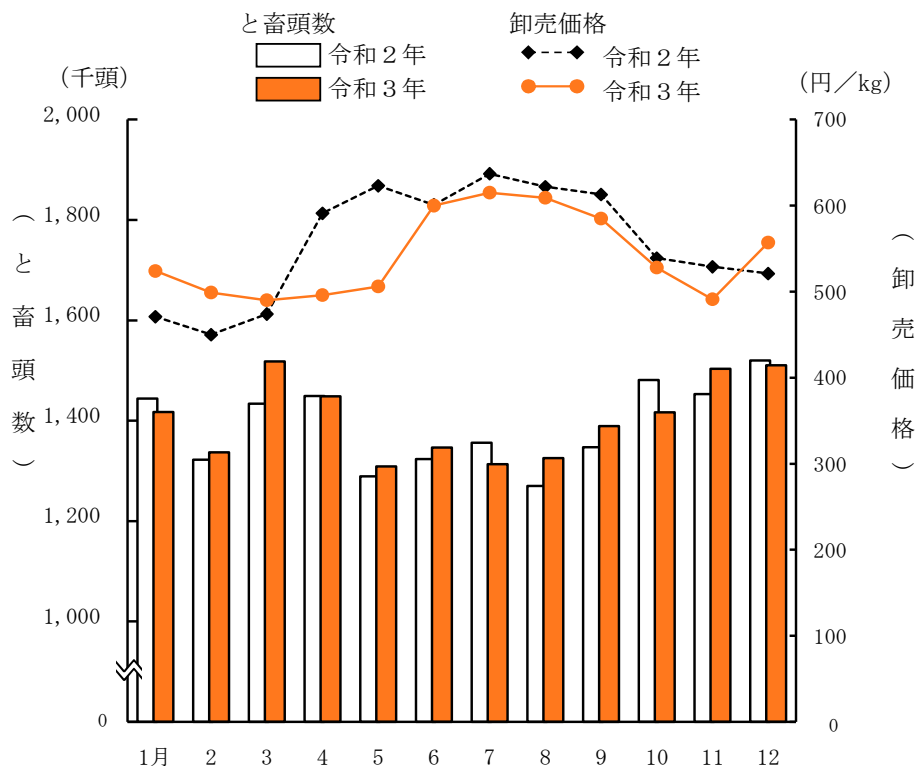
豚の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は12.2%で、前年に比べ0.4ポイント上昇した（表2）。

また、月別の卸売価格（極上・上規格）は、1月から3月及び12月で前年を上回ったものの、その他の月は前年を下回って推移した（図1）。

表2 豚の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合

年 次	全国と畜頭数	食肉卸売市場	割 合
		取引成立頭数	
	千頭	千頭	%
令和2年	16,690	1,966	11.8
3	16,836	2,048	12.2

図1 豚の月別と畜頭数及び卸売価格（極上・上規格）（全国）



(2) 牛

ア 成牛のと畜頭数及び枝肉生産量

全国の成牛のと畜頭数は105万1千頭、枝肉生産量は47万7,172 tで、前年に比べてと畜頭数は0.3%増加、枝肉生産量は前年並みとなった(表3)。

表3 成牛のと畜頭数及び枝肉生産量(全国)

区 分	と畜頭数	枝肉生産量
	千頭	t
令和2年	1,047	477,059
3	1,051	477,172
対前年比(%)	100.3	100.0

イ 成牛の取引成立頭数及び卸売価格

成牛の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場取引成立頭数の割合は32.2%で、前年に比べ0.7ポイント上昇した(表4)。

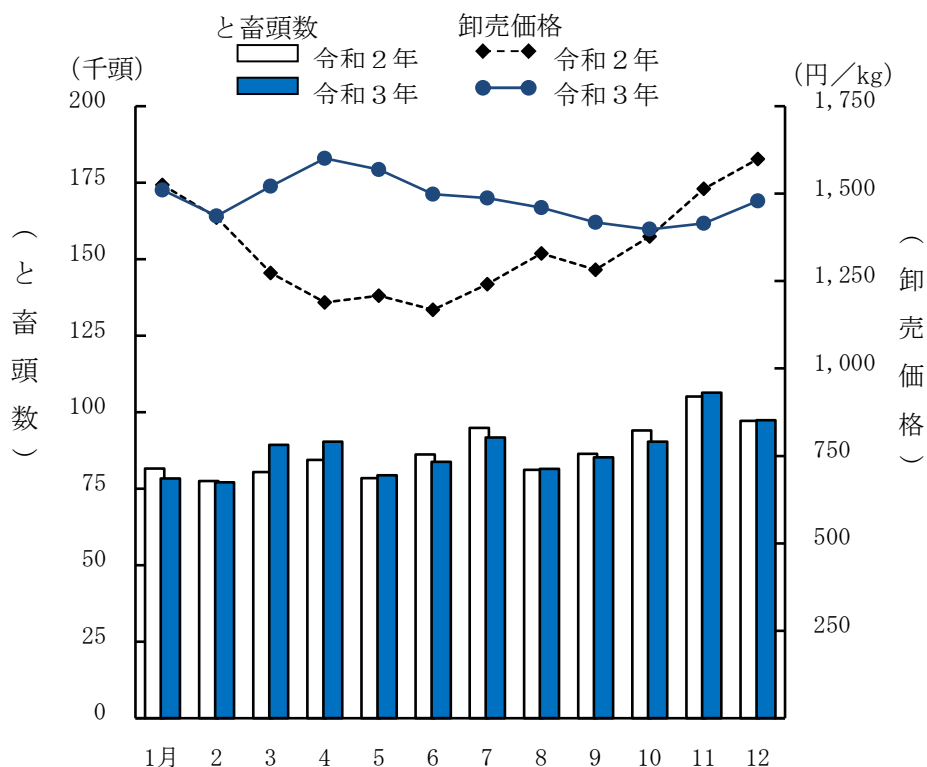
また、月別の卸売価格(去勢B-3・2規格)は、1月、11月及び12月で前年を下回ったものの、その他の月は前年を上回って推移した(図2)。

表4 成牛の全国と畜頭数に占める食肉卸売市場における取引成立頭数及び割合

年 次	全国と畜頭数	食肉卸売市場取引成立頭数		割 合
		千頭	千頭	
令和2年	1,047	330		31.5
3	1,051	339		32.2

注：割合は、原数より算出している。

図2 成牛の月別と畜頭数及び卸売価格(去勢B-3・2規格)(全国)



2 鶏卵流通の動向

鶏卵生産量は257万4千tで、前年に比べ2.2%減少した（図3、表5）。

都道府県別の構成割合をみると、茨城県が8.4%と最も高く、次いで鹿児島県が7.1%、岡山県が5.3%、広島県が5.2%の順となっている（表5）。

図3 鶏卵生産量の推移（全国）

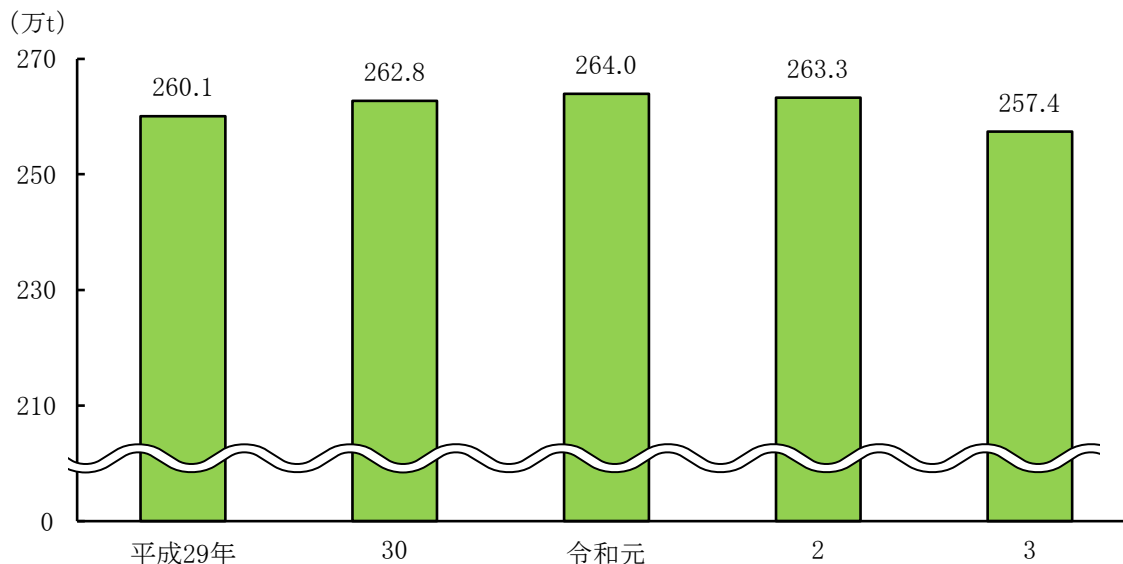


表5 鶏卵生産量（全国及び上位10都道府県）

区 分	実 数		対前年比	令和3年 構 成 比
	令和2年	3		
全 国	千t 2,633	千t 2,574	% 97.8	% 100.0
うち 茨 城	233	216	92.9	8.4
鹿 児 島	190	183	96.4	7.1
岡 山	128	138	107.6	5.3
広 島	140	135	96.0	5.2
栃 木	105	110	104.4	4.3
群 馬	90	109	121.2	4.2
静 岡	73	107	146.3	4.2
千 葉	157	107	67.9	4.1
愛 知	104	103	99.3	4.0
青 森	104	103	98.8	4.0
そ の 他	1,308	1,263	96.6	49.1

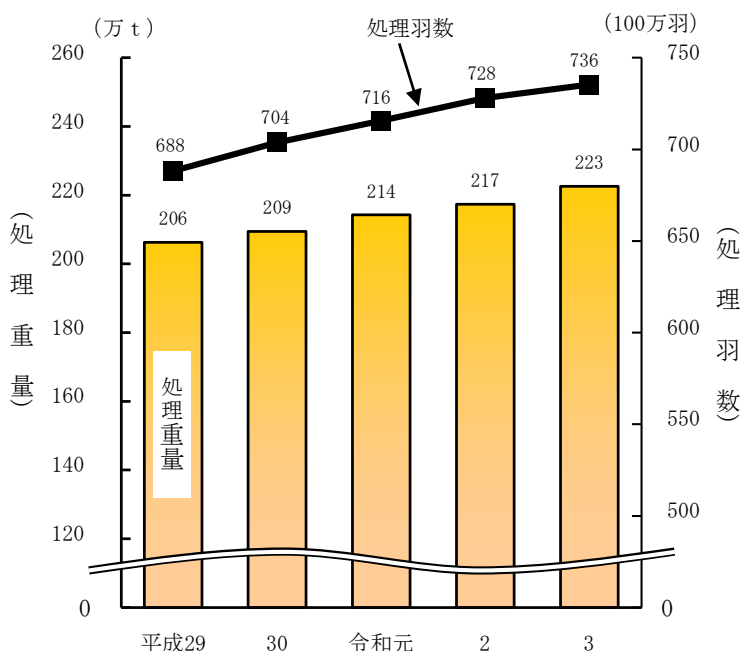
- 注：1 統計数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない。
 2 対前年比及び構成比は、原数より算出している。
 3 令和3年結果には採卵養鶏農家における自家消費量を含まない。

3 食鳥流通の動向

食鳥の処理羽数は、肉用若鶏が7億3,553万羽で前年に比べ1.0%増加したが、廃鶏が7,855万5千羽、その他の肉用鶏が171万7千羽で前年に比べそれぞれ10.2%、25.5%減少した（図4、表6）。

また、処理重量は、肉用若鶏が222万5,558 tで前年に比べ2.4%増加したが、廃鶏が13万7,033 t、その他の肉用鶏が5,023tで前年に比べそれぞれ9.4%、24.2%減少した（図4、表6）。

図4 肉用若鶏の処理羽数及び処理重量の推移（全国）



注：「処理羽数」及び「処理重量」は、食鳥処理場が食鶏を食用に供する目的で処理した生体の羽数及び重量をいう。
 なお、調査対象は年間の食鳥処理羽数が30万羽を超える全ての食鳥処理場である（以下同じ。）。

表6 食鳥処理量（年間処理羽数30万羽を超える食鳥処理場）

区分	単位	食鳥の種類		
		肉用若鶏	廃鶏	その他の肉用鶏
処理羽数（生体）				
令和2年	千羽	728,009	87,503	2,273
3	〃	735,530	78,555	1,717
対前年比	%	101.0	89.8	75.5
処理重量（生体）				
令和2年	t	2,173,562	151,220	6,624
3	〃	2,225,558	137,033	5,023
対前年比	%	102.4	90.6	75.8